

新・ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジあり・毎月分配型)

運用報告書（全体版）

第101期（決算日 2025年6月20日） 第103期（決算日 2025年8月20日） 第105期（決算日 2025年10月20日）
第102期（決算日 2025年7月22日） 第104期（決算日 2025年9月22日） 第106期（決算日 2025年11月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

「新・ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジあり・毎月分配型）」は、2025年11月20日に第106期の決算を行ないましたので、第101期から第106期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2017年2月3日から2032年5月20日までです。	
運用方針	主として、「ハイインカムBDCマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	新・ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジあり・毎月分配型)	「ハイインカムBDCマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ハイインカムBDCマザーファンド	BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）を主要投資対象とします。
組入制限	新・ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジあり・毎月分配型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ハイインカムBDCマザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<643394>

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター

電話番号：0120-25-1404

午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	基準価額					投資信託組入比率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰	中落		
77期(2023年6月20日)	円 7,261			円 35		% 2.7	% 97.2	百万円 823
78期(2023年7月20日)	7,576			35		4.8	93.5	833
79期(2023年8月21日)	7,491			35		△0.7	99.4	820
80期(2023年9月20日)	7,628			35		2.3	95.1	832
81期(2023年10月20日)	7,303			35		△3.8	95.5	777
82期(2023年11月20日)	7,529			10		3.2	95.9	780
83期(2023年12月20日)	7,734			10		2.9	89.8	690
84期(2024年1月22日)	7,830			10		1.4	98.8	736
85期(2024年2月20日)	7,830			10		0.1	97.8	714
86期(2024年3月21日)	7,860			10		0.5	93.8	708
87期(2024年4月22日)	8,052			10		2.6	98.7	660
88期(2024年5月20日)	8,200			10		2.0	95.9	662
89期(2024年6月20日)	8,124			10		△0.8	92.8	624
90期(2024年7月22日)	8,135			10		0.3	92.9	620
91期(2024年8月20日)	7,888			10		△2.9	95.3	599
92期(2024年9月20日)	7,998			10		1.5	90.8	609
93期(2024年10月21日)	8,128			10		1.8	98.1	608
94期(2024年11月20日)	8,096			10		△0.3	97.0	565
95期(2024年12月20日)	8,087			10		0.0	95.2	591
96期(2025年1月20日)	8,429			10		4.4	95.4	616
97期(2025年2月20日)	8,755			10		4.0	89.8	629
98期(2025年3月21日)	8,236			10		△5.8	91.5	596
99期(2025年4月21日)	7,647			10		△7.0	90.3	546
100期(2025年5月20日)	8,120			10		6.3	96.6	568
101期(2025年6月20日)	8,073			10		△0.5	95.1	561
102期(2025年7月22日)	8,395			10		4.1	93.6	638
103期(2025年8月20日)	8,098			10		△3.4	93.9	616
104期(2025年9月22日)	7,937			10		△1.9	90.2	602
105期(2025年10月20日)	7,337			10		△7.4	94.4	545
106期(2025年11月20日)	7,228			10		△1.3	97.5	529

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 組 入 比	券 率
		騰	落		
第101期	(期 首) 2025年 5月20日	円 8,120	—	—	% 96.6
	5月末	8,111	△0.1	—	93.6
	(期 末) 2025年 6月20日	8,083	△0.5	—	95.1
第102期	(期 首) 2025年 6月20日	8,073	—	—	95.1
	6月末	8,100	0.3	—	83.3
	(期 末) 2025年 7月22日	8,405	4.1	—	93.6
第103期	(期 首) 2025年 7月22日	8,395	—	—	93.6
	7月末	8,266	△1.5	—	91.9
	(期 末) 2025年 8月20日	8,108	△3.4	—	93.9
第104期	(期 首) 2025年 8月20日	8,098	—	—	93.9
	8月末	8,126	0.3	—	91.4
	(期 末) 2025年 9月22日	7,947	△1.9	—	90.2
第105期	(期 首) 2025年 9月22日	7,937	—	—	90.2
	9月末	7,613	△4.1	—	92.4
	(期 末) 2025年10月20日	7,347	△7.4	—	94.4
第106期	(期 首) 2025年10月20日	7,337	—	—	94.4
	10月末	7,448	1.5	—	94.6
	(期 末) 2025年11月20日	7,238	△1.3	—	97.5

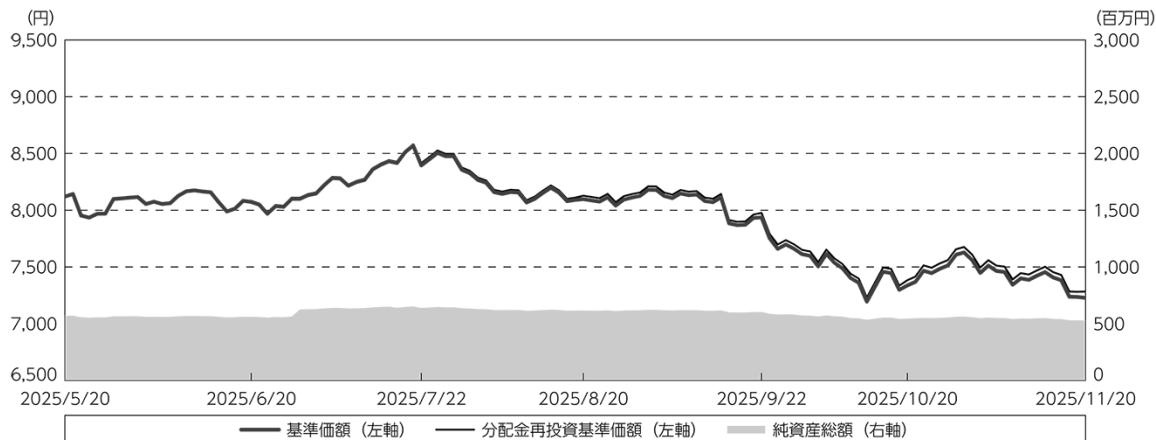
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2025年5月21日～2025年11月20日)

作成期間中の基準価額等の推移



第101期首： 8,120円

第106期末： 7,228円 (既払分配金(税込み):60円)

騰 落 率：△ 10.3% (分配金再投資ベース)

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年5月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ハイインカムB D Cマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資先B D Cから配当収入を得たこと。

<値下がり要因>

- ・B D C市場が下落したこと。

投資環境

（BDC市況）

期間中、BDC市場は上下動を続けながら2025年7月下旬まで上昇し、その後徐々に下落しました。

期間中、米国経済は堅調を維持しましたが、関税・金利政策・経済成長など不透明なマクロ要因により株式市場のボラティリティ（変動性）は高止まりしました。米連邦準備制度理事会（FRB）は政策金利を引き下げ、米国の2025年第2四半期国内総生産（GDP）は予想を上回る個人消費に牽引され堅調であったものの、その後雇用市場は軟化しました。BDC市場は、特に9月に下落しましたが、主な要因は金利低下予想、スプレッド（利回り格差）縮小、複数のレバレッジドローン破綻などBDC収益への逆風に関する複数の報道でした。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ハイインカムBDCマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないました。

（ハイインカムBDCマザーファンド）

期間中、9月以降のボラティリティ上昇を受け、現金保有比率を引き上げました。

ポートフォリオをディフェンシブに構築し、ノン・アクルーアル（非稼働資産）比率が低い高品質のBDCをオーバーウェイトとともに、収益改善のきっかけとなるディープバリュー銘柄へ機会を捉えて投資しました。

収益の逆風要因となっている低金利環境への感応度が低いBDCへの配分比率を高めました。

市場売りが発生した際には現金を投入し、元本保全を最優先に継続しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2025年5月21日～ 2025年6月20日	2025年6月21日～ 2025年7月22日	2025年7月23日～ 2025年8月20日	2025年8月21日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年10月20日	2025年10月21日～ 2025年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.124%	10 0.119%	10 0.123%	10 0.126%	10 0.136%	10 0.138%
当期の収益	10	10	2	10	10	4
当期の収益以外	—	—	7	—	—	5
翌期繰越分配対象額	1,698	1,742	1,734	1,806	1,844	1,839

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ハイインカムBDCマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なう方針です。

(ハイインカムBDCマザーファンド)

米国経済の安定と健全な企業収益は、BDCの信用パフォーマンスにとって良好な環境を提供し続けており、最近の報道が示すよりも安定しています。レバレッジドローン分野での注目すべきデフォルト事例(Tricolor社、First Brands社)は個別要因によるものであり、市場全体へのシステムリスクとはならないと考えています。

当ファンドでは、レバレッジドローン債務不履行のTricolor社やFirst Brands社の破綻に対する「ルックスルーパークス」エクスポートージャーは保有していません。金利低下は短期的にはBDCの収益減少につながる可能性がありますが、資金調達コストも同時に低下（上場BDCは平均1:1のレバレッジ）、歴史的に低金利環境では信用問題が減少しM&Aが増加する傾向といった相殺要因も存在していると思料しています。

本戦略は、上場クレジット市場に対する利回りプレミアムを伴なう、サイクルを超えた全天候型利回り戦略と捉えています。この資産クラスは過去にセンチメント変動を経験しましたが、長期投資家は優良な上場BDCを選別することで報われてきました。不透明な時期においてもBDCのパフォーマンスは引き続き分化すると考えます。ポートフォリオでは保守的なポジションを維持しつつ、中期的にはBDCのパフォーマンスに前向きな見方を継続します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年5月21日～2025年11月20日)

項目	第101期～第106期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 81	% 1.026	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(46)	(0.582)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(33)	(0.416)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(2)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.010	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(1)	(0.010)	
(c) その他の費用	5	0.063	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用等）	(4)	(0.048)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合計	87	1.099	
作成期間の平均基準価額は、7,944円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

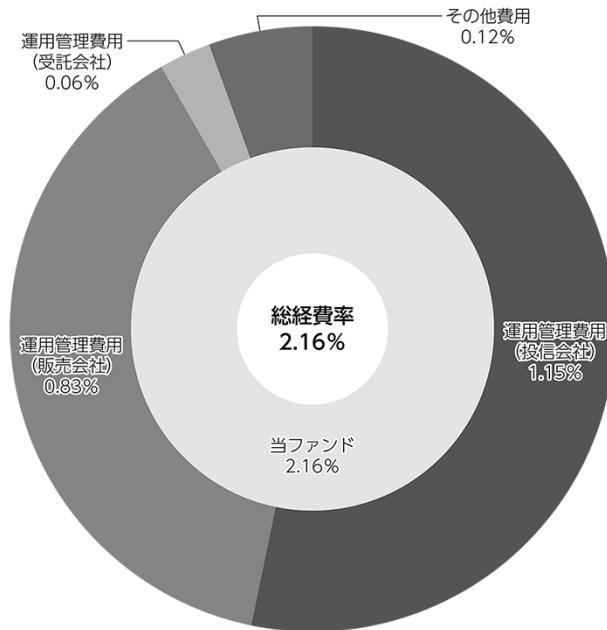
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.16%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年5月21日～2025年11月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第101期～第106期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ハイインカムB D C マザーファンド	千口 25,640	千円 60,701	千口 37,442	千円 90,123

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月21日～2025年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年5月21日～2025年11月20日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年5月21日～2025年11月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年11月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第100期末		第106期末	
	口 数	口 数	評 価 額	千円
ハイインカムB D C マザーファンド	千口 239,816	千口 228,014	千円 541,192	

(注) 親投資信託の2025年11月20日現在の受益権総口数は、13,436,897千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年11月20日現在)

項目	第106期末	
	評価額	比率
ハイインカムBDCマザーファンド	541,192	97.9
コール・ローン等、その他	11,636	2.1
投資信託財産総額	552,828	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) ハイインカムBDCマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（31,867,037千円）の投資信託財産総額（32,072,213千円）に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=157.29円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
	2025年6月20日現在	2025年7月22日現在	2025年8月20日現在	2025年9月22日現在	2025年10月20日現在	2025年11月20日現在
(A) 資産	円	円	円	円	円	円
コール・ローン等	1,122,279,339	1,304,521,752	1,221,805,804	1,196,764,954	1,098,739,004	1,070,319,360
ハイインカムBDCマザーファンド(評価額)	560,663,806	640,466,148	608,033,598	595,718,299	550,268,032	541,192,645
未収入金	550,264,192	650,326,009	601,094,094	588,529,163	537,222,526	517,490,987
未収利息	151	182	169	167	150	155
(B) 負債	561,214,863	665,651,744	605,512,072	593,771,319	553,399,730	540,683,336
未払金	559,500,040	663,692,169	603,590,270	590,680,692	551,535,751	538,717,195
未払収益分配金	694,952	761,023	761,055	759,727	743,224	732,729
未払解約金	322	26	24	1,000,015	58	859
未払信託報酬	971,816	1,098,903	1,013,675	1,130,484	879,531	946,776
その他未払費用	47,733	99,623	147,048	200,401	241,166	285,777
(C) 純資産総額(A-B)	561,064,476	638,870,008	616,293,732	602,993,635	545,339,274	529,636,024
元本	694,952,952	761,023,652	761,055,469	759,727,272	743,224,687	732,729,519
次期繰越損益金	△ 133,888,476	△ 122,153,644	△ 144,761,737	△ 156,733,637	△ 197,885,413	△ 203,093,495
(D) 受益権総口数	694,952,952口	761,023,652口	761,055,469口	759,727,272口	743,224,687口	732,729,519口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,073円	8,395円	8,098円	7,937円	7,337円	7,228円

(注) 当ファンドの第101期首先元本額は700,525,934円、第101～106期中追加設定元本額は77,421,527円、第101～106期中一部解約元本額は45,217,942円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第101期0.8073円、第102期0.8395円、第103期0.8098円、第104期0.7937円、第105期0.7337円、第106期0.7228円です。

(注) 2025年11月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は203,093,495円です。

○損益の状況

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2025年5月21日～ 2025年6月20日	2025年6月21日～ 2025年7月22日	2025年7月23日～ 2025年8月20日	2025年8月21日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年10月20日	2025年10月21日～ 2025年11月20日
(A) 配当等収益	4,628	6,836	4,901	5,360	4,420	4,548
受取利息	4,628	6,836	4,901	5,360	4,420	4,548
(B) 有価証券売買損益	△ 1,556,407	26,171,067	△ 20,781,360	△ 10,280,358	△ 42,893,544	△ 6,279,189
売買益	10,767,602	40,450,149	267,973	689,221	841,374	34,090,515
売買損	△ 12,324,009	△ 14,279,082	△ 21,049,333	△ 10,969,579	△ 43,734,918	△ 40,369,704
(C) 信託報酬等	△ 1,022,651	△ 1,155,170	△ 1,065,017	△ 1,189,683	△ 922,732	△ 997,303
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,574,430	△ 25,022,733	△ 21,841,476	△ 11,464,681	△ 43,811,856	△ 7,271,944
(E) 前期繰越損益金	△ 61,160,981	△ 63,512,246	△ 39,250,247	△ 61,741,670	△ 72,355,726	△ 115,232,474
(F) 追加信託差損益金	△ 69,458,113	△ 82,903,108	△ 82,908,959	△ 82,767,559	△ 80,974,607	△ 79,856,348
(配当等相当額)	(18,325,598)	(30,970,810)	(30,997,298)	(30,948,383)	(30,281,509)	(29,879,095)
(売買損益相当額)	(△ 87,783,711)	(△ 113,873,918)	(△ 113,906,257)	(△ 113,715,942)	(△ 111,256,116)	(△ 109,735,443)
(G) 計(D+E+F)	△ 133,193,524	△ 121,392,621	△ 144,000,682	△ 155,973,910	△ 197,142,189	△ 202,360,766
(H) 収益分配金	△ 694,952	△ 761,023	△ 761,055	△ 759,727	△ 743,224	△ 732,729
次期繰越損益金(G+H)	△ 133,888,476	△ 122,153,644	△ 144,761,737	△ 156,733,637	△ 197,885,413	△ 203,093,495
追加信託差損益金	△ 69,458,113	△ 82,903,108	△ 82,908,959	△ 82,767,559	△ 80,974,607	△ 79,856,348
(配当等相当額)	(18,326,179)	(30,991,020)	(30,997,329)	(30,948,586)	(30,281,654)	(29,879,134)
(売買損益相当額)	(△ 87,784,292)	(△ 113,894,128)	(△ 113,906,288)	(△ 113,716,145)	(△ 111,256,261)	(△ 109,735,482)
分配準備積立金	99,718,169	101,587,287	101,001,988	106,259,874	106,825,203	104,917,728
繰越損益金	△ 164,148,532	△ 140,837,823	△ 162,854,766	△ 180,225,952	△ 223,736,009	△ 228,154,875

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2025年5月21日～2025年11月20日の期間に当ファンドが負担した費用は2,203,466円です。

(注) 分配金の計算過程（2025年5月21日～2025年11月20日）は以下の通りです。

項目	2025年5月21日～ 2025年6月20日	2025年6月21日～ 2025年7月22日	2025年7月23日～ 2025年8月20日	2025年8月21日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年10月20日	2025年10月21日～ 2025年11月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	6,495,232円	4,051,101円	176,500円	6,199,044円	3,621,979円	358,791円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後、譲受大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	18,326,179円	30,991,020円	30,997,329円	30,948,586円	30,281,654円	29,879,134円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	93,917,889円	98,297,209円	101,586,543円	100,820,557円	103,946,448円	105,291,666円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	118,739,300円	133,339,330円	132,760,372円	137,968,187円	137,850,081円	135,529,591円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,708円	1,752円	1,744円	1,816円	1,854円	1,849円
g. 分配金	694,952円	761,023円	761,055円	759,727円	743,224円	732,729円
h. 分配金(1万口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

○お知らせ

約款変更について

2025年5月21日から2025年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
 - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第59条）
- 当ファンドについて、投資対象マザーファンドの運用委託に係る報酬の計算方法に関する規定を見直すべく、2025年10月30日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。具体的には、運用委託報酬率が投資対象マザーファンドの純資産総額に応じて変動するスキームから、別に定める各ベビーファンドが保有するマザーファンド時価総額の合計に応じて変動するスキームへ変更いたしました。（第41条、付表）

別に定める各ベビーファンドは、付表に規定している以下のものです。

- 新・ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジなし・毎月分配型）
- 新・ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジなし・年2回決算型）
- 新・ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジあり・毎月分配型）
- 新・ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジあり・年2回決算型）
- 新・ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジなし・年4回分配型）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

ハイインカムBDCマザーファンド

運用報告書

第9期（決算日 2025年5月20日）
(2024年5月21日～2025年5月20日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2017年2月3日から原則無期限です。
運用方針	主として、BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	BDCを主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCに投資し、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

BDCの銘柄選定にあたっては、各銘柄毎の利回り水準、流動性に加えて、ファンダメンタルズや割安性などを勘案して行ないます。

BDCの組入比率は、高位を維持することを基本とします。なお、一部、BDCと類似する性質を有する株式および上場投資信託証券などに投資することができます。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となつたときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638485>

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	投資信託券率		純資産額
		期騰	中落率	
5期(2021年5月20日)	円 12,224		% 61.0	% 97.3 百万円 8,717
6期(2022年5月20日)	14,505		18.7	95.8 7,767
7期(2023年5月22日)	16,241		12.0	96.8 7,917
8期(2024年5月20日)	23,797		46.5	96.3 10,191
9期(2025年5月20日)	23,695	△ 0.4		96.7 18,048

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	投資信託券率		純資産額
		期騰	中落率	
(期首) 2024年5月20日	円 23,797		% 一	% 96.3
5月末	24,086		1.2	95.2
6月末	24,775		4.1	94.4
7月末	23,709		△0.4	94.5
8月末	21,891		△8.0	94.8
9月末	21,844		△8.2	94.1
10月末	23,775		△0.1	94.8
11月末	23,992		0.8	94.8
12月末	25,646		7.8	90.9
2025年1月末	26,039		9.4	93.8
2月末	25,130		5.6	94.1
3月末	24,689		3.7	91.4
4月末	22,216		△6.6	94.0
(期末) 2025年5月20日	23,695		△0.4	96.7

(注) 謄落率は期首比です。

○運用経過

(2024年5月21日～2025年5月20日)

基準価額の推移

期間の初め23,797円の基準価額は、期間末に23,695円となり、騰落率は△0.4%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資先BDCから配当収入を得たこと。

<値下がり要因>

- ・BDC市場が下落したこと。
- ・円高／アメリカドル安が進行したこと。

(BDC市況)

期間中、BDC市場は上下動を続けながら2025年2月中旬まで上昇し、その後下落しました。BDCは期間中の大半で簿価に近い水準で取引されていましたが、2025年4月初旬に急落しました。この売りは主に関税に関連したマクロセンチメントの変化によるもので、4月後半から改善しました。BDCのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は期間中も堅調に推移し、過去最高を上回る金利と低水準のクレジット・デフォルトから収益は引き続き恩恵を受けました。

この期間中、BDC市場は米国株式（S&P500指数）をアンダーパフォームしました。

(為替市況)

期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。



円／アメリカドルの推移



ポートフォリオ

期間中、BDCポートフォリオをディフェンシブに位置づけ、質の高いBDCマネジャーにバイアスをかけました。また、2025年に向けては、米国トランプ政権の新政策により市場が不安定になるであろうと予想していたため、比較的多くの現金を保有していました。市場の下落局面では現金を投入し、現在も元本保全を優先しています。

○今後の運用方針

貿易摩擦に起因する経済混乱の初期兆候が見られ、米国の経済成長は2025年第1四半期に鈍化し、関税とインフレ上昇の可能性でセンチメントは悪化しました。残念ながら、株価の乱高下はマクロ的な背景と高い相関性を保ち続けると思われます。関税の対立が今後もエスカレートし、企業活動や消費者活動に重大な影響を与えない限りは、米国経済はほぼ安定的に推移すると予想しています。

BDCのファンダメンタルズは、2025年初頭から景気後退リスクが高まっているとはいえ、依然として健全であると考えます。米国経済が引き続き拡大する限り、たとえベースが遅くとも、米国のミドルマーケット企業は債務を返済し続けることができるはずであり、BDCの収益には良い兆しとなるとみています。BDCのクレジットパフォーマンスは今後もばらつきが続くと思われますが、これは、景気後退局面では信用引受プロセスの不備が損失拡大につながるためであると考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年5月21日～2025年5月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	円 3 (3)	% 0.013 (0.013)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用)	4 (4)	0.017 (0.017)	(c) その他の費用=期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	7	0.030	
期中の平均基準価額は、23,982円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年5月21日～2025年5月20日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付		
	口数	金額	口数	金額	
外 国	アメリカ	口	千アメリカドル	口	千アメリカドル
	ARES CAPITAL CORP -BDC	379,852	8,319	4,675	99
	BAIN CAPITAL SPECIALTY FINAN-BDC	139,441	2,244	—	—
	BARINGS BDC INC-BDC	94,807	916	10,288	101
	BLACKROCK TCP CAPITAL CORP-BDC	96,239	869	—	—
	BLACKSTONE SECURED LENDING F-BDC	177,679	5,558	6,502	199
	BLUE OWL CAPITAL COR-BDC	173,378	2,506	—	—
	(△ 173,378)	(△ 2,506)			
	BLUE OWL CAPITAL CORP-BDC	306,274	4,436	59,691	897
	BLUE OWL CAPITAL CORP-BDC (N)	—	—	—	—
	(169,546)	(2,506)			
	CAPITAL SOUTHWEST CORP -BDC	49,373	1,099	—	—
	CARLYLE SECURED LENDING INC-BDC	72,230	1,100	23,371	405
	CRESCENT CAPITAL-BDC	9,729	154	—	—
	FIDUS INVESTMENT CORP -BDC	53,174	1,054	—	—
	FS KKR CAPITAL CORP-BDC	199,012	4,244	—	—
	GOLDMAN SACHS BDC INC -BDC	97,079	1,202	10,200	144
	GOLUB CAPITAL BDC INC -BDC	360,828	5,478	—	—
	HERCULES CAPITAL INC-BDC	203,665	3,889	—	—
	MAIN STREET CAPITAL CORP -BDC	77,770	4,183	—	—
	MIDCAP FINANCIAL INVESTMENT -BDC	100,908	1,287	—	—
	MORGAN STANLEY DIRECT-BDC	219,749	4,356	—	—
	NEW MOUNTAIN FINANCE CORP -BDC	164,255	1,876	8,828	100
	OAKTREE SPECIALTY LENDING CO -BDC	104,543	1,658	18,844	292
	PENNANTPARK FLOATING RATE CA -BDC	19,704	199	—	—
	SIXTH STREET SPECIALTY LENDI -BDC	181,782	3,904	—	—
	SLR INVESTMENT CORP -BDC	68,854	1,113	—	—
	STELLUS CAPITAL INVESTMENT C -BDC	28,529	417	—	—
	小計	3,378,854 (△ 3,832)	62,073 (—)	142,399	2,240

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) () 内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月21日～2025年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2024年5月21日～2025年5月20日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年5月20日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末) 口数	当期末			比率 %
		口数	評価額	外貨建額	邦貨換算額
(アメリカ)					
BAIN CAPITAL SPECIALTY FINAN-BDC	149,551	288,992	4,551	661,441	3.7
BLACKSTONE SECURED LENDING F-BDC	171,552	342,729	10,933	1,588,791	8.8
FS KKR CAPITAL CORP-BDC	259,227	458,239	9,787	1,422,389	7.9
GOLDMAN SACHS BDC INC-BDC	214,793	301,672	3,408	495,380	2.7
HERCULES CAPITAL INC-BDC	189,129	392,794	7,019	1,020,034	5.7
MAIN STREET CAPITAL CORP-BDC	97,855	175,625	9,840	1,429,987	7.9
MORGAN STANLEY DIRECT-BDC	—	219,749	4,394	638,678	3.5
BLUE OWL CAPITAL CORP-BDC	383,465	799,594	11,770	1,710,419	9.5
STELLUS CAPITAL INVESTMENT C-BDC	33,600	62,129	845	122,879	0.7
SIXTH STREET SPECIALTY LENDI-BDC	164,613	346,395	7,894	1,147,205	6.4
BARINGS BDC INC-BDC	102,204	186,723	1,706	248,010	1.4
MIDCAP FINANCIAL INVESTMENT-BDC	94,844	195,752	2,519	366,108	2.0
ARES CAPITAL CORP-BDC	435,811	810,988	17,768	2,582,154	14.3
CAPITAL SOUTHWEST CORP-BDC	52,936	102,309	2,204	320,395	1.8
CRESCENT CAPITAL-BDC	49,961	59,690	931	135,403	0.8
FIDUS INVESTMENT CORP-BDC	33,431	86,605	1,756	255,232	1.4
OAKTREE SPECIALTY LENDING CO-BDC	89,613	175,312	2,533	368,133	2.0
GOLUB CAPITAL BDC INC-BDC	316,505	677,333	10,200	1,482,356	8.2
NEW MOUNTAIN FINANCE CORP-BDC	136,516	291,943	3,164	459,888	2.5
PENNANTPARK FLOATING RATE CA-BDC	28,803	48,507	501	72,816	0.4
SLR INVESTMENT CORP-BDC	69,180	138,034	2,313	336,190	1.9
CARLYLE SECURED LENDING INC-BDC	130,407	179,266	2,579	374,872	2.1
BLACKROCK TCP CAPITAL CORP-BDC	90,548	186,787	1,451	210,908	1.2
合計	口数 銘柄 数	・金額 <比率 >	6,527,167 22	120,077 23	17,449,680 <96.7%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2025年5月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
千円	%	
投資証券	17,449,680	96.3
コール・ローン等、その他	669,118	3.7
投資信託財産総額	18,118,798	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（18,021,927千円）の投資信託財産総額（18,118,798千円）に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=145.32円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年5月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	
コール・ローン等	18,201,798,950
投資証券(評価額)	644,105,330
未収入金	17,449,680,444
未収配当金	83,216,425
未取利息	24,795,461
	1,290
(B) 負債	153,253,180
未払金	83,000,000
未払解約金	70,253,180
(C) 純資産総額(A-B)	18,048,545,770
元本	7,617,082,207
次期繰越損益金	10,431,463,563
(D) 受益権総口数	7,617,082,207口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,695円

(注) 当ファンドの期首元本額は4,282,675,081円、期中追加設定元本額は3,887,750,053円、期中一部解約元本額は553,342,927円です。

(注) 2025年5月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジなし・毎月分配型) 5,384,011,127円
- ・新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジなし・年2回決算型) 1,444,343,753円
- ・新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジなし・年4回分配型) 333,486,691円
- ・新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり・毎月分配型) 239,816,605円
- ・新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型) 215,424,031円

(注) 1口当たり純資産額は2,3695円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○損益の状況 (2024年5月21日～2025年5月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取配当金	1,194,750,524
受取利息	1,184,952,394
(B) 有価証券売買損益	9,798,130
売買益	△ 1,364,621,907
売買損	365,925,707
(C) 保管費用等	△ 1,730,547,614
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,181,593
(E) 前期繰越損益金	△ 172,052,976
(F) 追加信託差損益金	5,909,000,877
(G) 解約差損益金	5,456,171,713
(H) 計(D+E+F+G)	△ 761,656,051
次期繰越損益金(H)	10,431,463,563
	10,431,463,563

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2024年5月21日から2025年5月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2024年8月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第19条、第20条、第21条、第26条)

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。